

専門医更新に関する 一問一答

目次

目次	2	ii) 共通講習 区分	27	取得単位数の確認方法	37
専門医更新・指導医初回または更新の種類	3	ii) 共通講習 必修講習A	28	i) 診療実績の証明（または免除）登録	40
専門医更新申請の時期	4	ii) 共通講習 必修講習B	29	単位・業績申請	43
2023～2025年度専門医更新条件	5	ii) 共通講習 受講方法	30	申請書類のダウンロード	46
2026年度専門医更新条件	7	iii) 泌尿器科領域講習 受講方法	32	単位取得例①	48
2027年度以降専門医更新条件	9	講習単位の注意点	33	単位取得例②	50
i) 診療実績の証明 内訳	14	eラーニングの注意点	34	専門医更新テスト	52
i) 診療実績の証明 ①NCD	15	JUA Webinarの注意点	35		
i) 診療実績の証明 ②手術症例一覧	20	iv) 学術業績・診療以外の活動実績	36		
i) 診療実績の証明 ③症例一覧	22				
i) 診療実績の証明 ④免除	24				

専門医更新・指導医初回または更新の種類

- 専門医更新

全員「機構専門医」で更新する。

「学会専門医」では更新できない。

- 指導医初回または更新

従来どおりで、変更はない。

日本泌尿器科学会の資格（のみ）のため。

専門医更新申請の時期

現在の専門医認定期間	次回更新年度	申請受付時期（予定）
2018年4月1日 ～ 2023年3月31日 2018年10月1日 ～ 2023年3月31日	2023年度	2023年1月～3月
2019年4月1日 ～ 2024年3月31日 2019年10月1日 ～ 2024年3月31日	2024年度	2024年1月～3月
2020年4月1日 ～ 2025年3月31日 2020年10月1日 ～ 2025年3月31日	2025年度	2025年1月～3月
2021年4月1日 ～ 2026年3月31日 2021年10月1日 ～ 2026年3月31日	2026年度	2026年1月～3月
2022年4月1日 ～ 2027年3月31日	2027年度	2027年1月～3月

※指導医初回・更新申請…専門医の更新と同時に行う。
前年度以前に専門医更新認定を受けている場合のみ、
指導医初回のみ申請することも可能。

2023～2025年度専門医更新条件 1/2

2023～2025年度専門医更新申請時の条件

1. 日本泌尿器科学会総会、東部・中部・西日本総会のいずれかに1回以上参加
2. 必要単位を50単位以上取得していること
 - 今回4回目以上の専門医更新の場合（会員MyWebの専門医情報で、更新回数が「3回」以上と記載）は「i)診療実績の証明（10単位）」の免除を選択することも可能。その場合、専門医更新申請時に、「診療従事証明書」の提出が必要。
 - 「i)診療実績の証明」の免除を選択した場合、40単位が必要。

2023～2025年度専門医更新条件 2/2

項目		必要単位数	
i)	診療実績の証明		
	(①②のいずれか選択)		
	①	NCD登録症例証 手術症例一覧表（様式2） 症例一覧表（様式3）	合計10単位 (いずれかで満たしても可)
②	免除（要 診療従事証明書）	0単位	
ii)	共通講習 ※1		3単位～最大10単位
	うち 必修講習A (医療安全、感染対策、医療倫理)		各1単位以上
	うち 必修講習B ※3 (医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、 医療経済（保健医療等）、両立支援)		0単位～最大7単位
	うち 任意講習C ※3 (臨床研究・臨床試験、災害医療)		0単位～最大7単位
iii)	泌尿器科領域講習 ※1	15単位以上	
iv)	学術業績・診療以外の活動実績 ※2	3単位～最大15単位	
合計	i)診療実績の証明で①10単位を選択した場合		50単位
	i)診療実績の証明で②免除を選択した場合		40単位

※1 必要な講習単位（ii共通講習+iii泌尿器科領域講習）について
【必須】40%以上を、卒後教育プログラム受講で取得しなければならない。
(総会・地区総会会場、またはe-ラーニングによる)

※2 学術業績・診療以外の活動実績
学術集会の「参加」単位で取得できるのは6単位まで。

※3 必修講習B・任意講習C
必須ではない。

2026年度専門医更新条件 1/2

2026年度専門医更新申請時の条件

1. 日本泌尿器科学会総会、東部・中部・西日本総会のいずれかに1回以上参加
2. 専門医更新テストに合格していること (2026年度から追加)
3. 必要単位を50単位以上取得していること
 - 今回4回目以上の専門医更新の場合 (会員MyWebの専門医情報で、更新回数が「3回」以上と記載) は「i)診療実績の証明 (10単位)」の免除を選択することも可能。その場合、専門医更新申請時に、「診療従事証明書」の提出が必要。
 - 「i)診療実績の証明」の免除を選択した場合、40単位が必要。

2026年度専門医更新条件 2/2

項目		必要単位数	
i)	診療実績の証明		
	(①②のいずれか選択)		
	①	NCD登録症例証 手術症例一覧表（様式2） 症例一覧表（様式3）	合計10単位 (いずれかで満たしても可)
②	免除（要 診療従事証明書）	0単位	
ii)	共通講習 ※1		3単位～最大10単位
	うち 必修講習A (医療安全、感染対策、医療倫理)		各1単位以上
	うち 必修講習B ※3 (医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、 医療経済（保健医療等）、両立支援)		0単位～最大7単位
	うち 任意講習C ※3 (臨床研究・臨床試験、災害医療)		0単位～最大7単位
iii)	泌尿器科領域講習 ※1	15単位以上	
iv)	学術業績・診療以外の活動実績 ※2	3単位～最大15単位	
合計	i)診療実績の証明で①10単位を選択した場合		50単位
	i)診療実績の証明で②免除を選択した場合		40単位

※1 必要な講習単位（ii共通講習+iii泌尿器科領域講習）について
【必須】40%以上を、卒後教育プログラム受講で取得しなければならない。
(総会・地区総会会場、またはe-ラーニングによる)

※2 学術業績・診療以外の活動実績
学術集会の「参加」単位で取得できるのは6単位まで。

※3 必修講習B・任意講習C
必須ではない。

2027年度以降専門医更新条件 1/5

2027年度以降専門医更新申請時の条件

- 2027年度以降に専門医を更新する場合、専門医初回認定された時期が「2021年度以前」か「2022年度以降」かによって、ii)共通講習「必修講習B」の有無が異なる。
- 専門医初回認定日は、会員MyWebの「登録情報の確認と編集」で確認できる。

専門医情報	
研修登録番号	
研修開始年月日	-
登録番号	<div style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</div> <small>※認定証（機構発行）においては、20（領域番号）-登録番号で表記されます。</small>
初回認定年月日	2017年4月1日 更新回数：3回
認定期間	<開始> 2017年4月1日 <終了> 2022年3月31日
機構区分	-
過去情報	
メモ	

初回認定年月日が「2021年10月1日以前」「2022年4月1日以降」のどちらに該当するかで「必修B」の有無が異なる

2027年度以降専門医更新条件 2/5

A) 2021年度（2021年10月1日）以前に専門医初回認定された場合

1. 日本泌尿器科学会総会、東部・中部・西日本総会のいずれかに1回以上参加
2. 専門医更新テストに合格していること
3. 必要単位を50単位以上取得していること
 - 今回4回目以上の専門医更新の場合（会員MyWebの専門医情報で、更新回数が「3回」以上と記載）は「i)診療実績の証明（10単位）」の免除を選択することも可能。その場合、専門医更新申請時に、「診療従事証明書」の提出が必要。
 - 「i)診療実績の証明」の免除を選択した場合、40単位が必要。

2027年度以降専門医更新条件 3/5

項目		必要単位数	
i)	診療実績の証明		
	(①②のいずれか選択)		
	①	NCD登録症例証 手術症例一覧表(様式2) 症例一覧表(様式3)	合計10単位 (いずれかで満たしても可)
②	免除(要 診療従事証明書)	0単位	
ii)	共通講習 ※1		3単位～最大10単位
	うち 必修講習A (医療安全、感染対策、医療倫理)		各1単位以上
	うち 必修講習B ※3 (医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、 医療経済(保健医療等)、両立支援)		0単位～最大7単位
うち 任意講習C ※3 (臨床研究・臨床試験、災害医療)		0単位～最大7単位	
iii)	泌尿器科領域講習 ※1	15単位以上	
iv)	学術業績・診療以外の活動実績 ※2	3単位～最大15単位	
合計	i)診療実績の証明で①10単位を選択した場合		50単位
	i)診療実績の証明で②免除を選択した場合		40単位

- ※1 必要な講習単位(ii共通講習+iii泌尿器科領域講習)について
【必須】40%以上を、卒後教育プログラム受講で取得しなければならない。
(総会・地区総会会場、またはe-ラーニングによる)
- ※2 学術業績・診療以外の活動実績
学術集会の「参加」単位で取得できるのは6単位まで。
- ※3 必修講習B・任意講習C
必須ではない。

2021年度以前に
専門医初回認定された
場合

「必修講習B」は
必須ではない

2027年度以降専門医更新条件 4/5

B) 2022年度（2022年4月1日）以降に専門医初回認定された場合

1. 日本泌尿器科学会総会、東部・中部・西日本総会のいずれかに1回以上参加
2. 専門医更新テストに合格していること
3. 必要単位を50単位以上取得していること
 - 今回4回目以上の専門医更新の場合（会員MyWebの専門医情報で、更新回数が「3回」以上と記載）は「i)診療実績の証明（10単位）」の免除を選択することも可能。その場合、専門医更新申請時に、「診療従事証明書」の提出が必要。
 - 「i)診療実績の証明」の免除を選択した場合、40単位が必要。

2027年度以降専門医更新条件 5/5

項目		必要単位数
i)	診療実績の証明	
	(①②のいずれか選択)	
	①	NCD登録症例証 手術症例一覧表（様式2） 症例一覧表（様式3）
	②	免除（要 診療従事証明書）
ii)	共通講習 ※1	
	うち 必修講習A （医療安全、感染対策、医療倫理）	
	うち 必修講習B （医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、 医療経済（保健医療等）、両立支援）	
	うち 任意講習C ※3 （臨床研究・臨床試験、災害医療）	
iii)	泌尿器科領域講習 ※1	15単位以上
iv)	学術業績・診療以外の活動実績 ※2	3単位～最大15単位
合計	i)診療実績の証明で①10単位を選択した場合	
	i)診療実績の証明で②免除を選択した場合	

※1 必要な講習単位（ii共通講習+iii泌尿器科領域講習）について
【必須】40%以上を、卒後教育プログラム受講で取得しなければならない。
（総会・地区総会会場、またはe-ラーニングによる）

※2 学術業績・診療以外の活動実績
学術集会の「参加」単位で取得できるのは6単位まで。

※3 任意講習C
必須ではない。

2022年度以降に
専門医初回認定された
場合

「必修講習B」は
必須

i) 診療実績の証明 内訳

「NCD登録症例証」「手術症例」「症例一覧（外来診療症例）」を組み合わせることで10単位分としてもよいし、いずれか1つで満たしてもよい。

(例)

	項目	症例数	単位数
1	NCD登録症例証	103例	10単位
2	NCD登録症例証	68例 (6単位)	10単位
	手術症例一覧表	40例 (4単位)	
3	手術症例一覧表	100例 (10単位)	10単位
4	手術症例一覧表	70例 (7例)	10単位
	症例一覧表 (尿路性器感染症)	30例 (3例)	
5	症例一覧表 (尿路性器感染症)	100例 (10単位)	10単位
6	症例一覧表 (尿路性器感染症)	60例 (6単位)	10単位
	症例一覧表 (慢性腎不全)	40例 (4単位)	

i) 診療実績の証明 ①NCD 1/5

1. NCD登録症例証

NCD (National Clinical Database) の関連団体所属医師専用システム「NCD-Person」から、ダウンロードできる。

① 会員MyWebログイン後「NCD関連」を選択



② 「NCD-Person」を選択

i) 診療実績の証明 ①NCD 2/5

③ 「NCD-Person」にログイン
※初めての場合は、認証手続き画面になる。



④ 該当するメニューを選ぶ

i) 診療実績の証明 ①NCD 3/5

NCD 泌尿器科 専門術式集計システム 🏠 トップページへ戻る

専門術式 | 集計期間: 2021-04-01 ~ 2026-03-31 (2026年 更新 申請用)

項目	術者	助手	合計	
総計	2	0	2	症例一覧
未選択	0	0	0	症例一覧
一般的な手術	2	0	2	症例一覧
副腎・腎・後腹膜の手術	2	0	2	開く... 症例一覧
尿管・膀胱の手術	0	0	0	開く... 症例一覧
前立腺・尿道の手術	0	0	0	開く... 症例一覧
陰嚢内容臓器・陰茎の手術	0	0	0	開く... 症例一覧
専門的な手術	0	0	0	症例一覧
腎移植・透析関連の手術	0	0	0	開く... 症例一覧
小児泌尿器関連の手術	0	0	0	開く... 症例一覧
女性泌尿器関連の手術	0	0	0	開く... 症例一覧
ED・不妊関連の手術	0	0	0	開く... 症例一覧
結石関連の手術	0	0	0	
神経泌尿器・臓器再建関連の手術	0	0	0	
腹腔鏡・腹腔鏡下小切開・ロボット支援関連の手術	0	0	0	

[PDFをダウンロードする](#)

⑤ 「PDFをダウンロードする」
を選ぶ

i) 診療実績の証明 ①NCD 5/5

- NCD登録症例証は、「合計」（全施設合計）と「施設別集計」がまとめて1つのファイルになっている。
- 「合計」のうち、「一般的な手術」「専門的な手術」の各「計」を合計した数を、NCD登録症例証による単位として申請できる。
- 専門医更新の場合、「術者」「助手」の別は問わない。目標数値（ ≥ 5 など）も問わない。
- 10例 = 1単位とする。
- 「未選択」は、NCD登録症例証に表示されない。表示したい場合は、「一般的な手術」「専門的な手術」のいずれかを選択する。専門医更新の場合、「一般的な手術」「専門的な手術」どちらでも構わない。

i) 診療実績の証明 ②手術症例一覧 1/2

2. 手術症例一覧表（様式2）

- 手術症例一覧表は、JUA academy〈研修単位・業績登録〉の「認定更新申請書類」からダウンロードできる。
- 手術術式は「泌尿器科領域の主な手術一覧表」（手術症例一覧表のファイルにシートあり）に記載のものとする。生検は含めない。
- 10例 = 1単位とする。
- 「術者/指導者」は、自分が術者だった場合は「術者」、指導する立場だった場合は「指導者」と記入する。指導者の場合、日本泌尿器科学会の指導医資格の有無は問わない。

i) 診療実績の証明 ②手術症例一覧 2/2

- 複数の施設の症例をあわせて記入できる。
- 「責任者署名」は、主たる施設の責任者（泌尿器科の責任者）が署名・捺印する。自分自身が責任者の場合は自分で署名・捺印する。
- 「NCD登録症例証」の症例を重複して入力することはできない。

i) 診療実績の証明 ③症例一覧 1/2

3. 症例一覧表（様式3）

- 症例一覧表は、JUA academy〈研修単位・業績登録〉の「認定更新申請書類」からダウンロードできる。

- 領域は7つある。

① 尿路性器感染症 ② 下部尿路機能障害 ③ 尿路性器腫瘍 ④ 尿路結石症
⑤ 慢性腎不全 ⑥ 小児泌尿器科疾患 ⑦ 不妊・アンドロロジー

- 1領域10例 = 1単位とする。

（例） 尿路性器感染症 10例 → 1単位になる

尿路性器感染症 8例 + 慢性腎不全 2例 → 1単位にならない

i) 診療実績の証明 ③症例一覧 2/2

- 必ずしも初診でなくても構わないが、泌尿器科専門医としてふさわしい疾患と診療内容のもので、同一人物の同一疾患が重複しないように記入する。ただし、2つ以上の領域にまたがる場合は、それぞれを1カウントとすることができる。
- 「担当医/指導医」は、自分が担当医だった場合は「担当医」、指導する立場だった場合は「指導医」と記入する。指導医の場合、日本泌尿器科学会の指導医資格の有無は問わない。

i) 診療実績の証明 ④免除 1/3

4. 免除

- 現在の専門医更新回数（学会・機構問わず）が3回以上で、4回目以上の更新申請にあたる場合
 - i)診療実績の証明（10単位） 免除を選択することも可能
- 更新回数は、会員MyWebの「登録情報の確認と編集」で確認できる。

専門医情報	
研修登録番号	
研修開始年月日	-
登録番号	<div style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</div> <small>※認定証（機構発行）においては、20（領域番号）-登録番号で表記されます。</small>
初回認定年月日	2017年4月1日
認定期間	<開始> 2017年4月1日 ~ <終了> 2022年3月31日
機構区分	-
過去情報	
メモ	

更新回数が「3回」以上であれば免除選択可能

更新回数：3回

i) 診療実績の証明 ④免除 2/3

① 免除を選択する場合

- i) 診療実績の証明（10単位）は不要。ii) 共通講習～iv) 学術業績・診療以外の活動実績の合計40単位が必要。
- かわりに「診療従事証明書」（本人以外の泌尿器科専門医の署名・捺印が必要）を提出する。「診療従事証明書」は、JUA academy〈研修単位・業績登録〉の「認定更新申請書類」からダウンロードできる。

i) 診療実績の証明 ④免除 3/3

② 免除を選択しない場合

- i)診療実績の証明（10単位）が必要。
- i)診療実績の証明～iv)学術業績・診療以外の活動実績の合計50単位が必要。

ii) 共通講習 区分

- 共通講習は、「必修講習A」「必修講習B」「任意講習C」に区分される。

区分	項目
必修講習A	医療安全
	感染対策
	医療倫理
必修講習B	医療制度と法律
	地域医療
	医療福祉制度
	医療経済（保険医療等）
任意講習C	両立支援
	臨床研究・臨床試験
	災害医療

ii) 共通講習 必修講習A

- 更新者全員が、各1単位以上、合計3単位以上必須。

区分	項目
必修講習A	医療安全
	感染対策
	医療倫理

ii) 共通講習 必修講習B

① 2021年度以前に専門医初回認定された場合

「必修講習B」は、必須ではない。

② 2022年度以降に専門医初回認定された場合

「必修講習B」は、各1単位以上、合計5単位以上必須。

区分	項目
必修講習B	医療制度と法律
	地域医療
	医療福祉制度
	医療経済（保険医療等）
	両立支援

ii) 共通講習 受講方法 1/2

① 必修講習A・必修講習B

- 卒後教育プログラム（総会・地区総会・eラーニング）、総会企画プログラム（総会・地区総会）、地方会の講習会、関連学会の講習会、医師会の講習会、基幹施設の講習会などで受講できる。
- 卒後教育プログラム・総会企画プログラム以外は、学会または日本専門医機構等に申請して認められたものに限る。

ii) 共通講習 受講方法 2/2

② 任意講習C

- 地方会の講習会、関連学会の講習会、医師会の講習会、基幹施設の講習会などで受講できる。いずれも学会または日本専門医機構等に申請して認められたものに限る。

iii) 泌尿器科領域講習 受講方法

- 卒後教育プログラム（総会・地区総会・eラーニング）、総会企画プログラム（総会・地区総会）、JUA Webinar、地方会の講習会、関連学会の講習会などで受講できる。
- 卒後教育プログラム・総会企画プログラム・JUA Webinar以外は、学会に申請して認められたものに限る。

講習単位の注意点

- 必要な講習単位（ii 共通講習 + iii 泌尿器科領域講習）の40%以上を、卒後教育プログラム（総会・地区総会・e-ラーニング）を受講することで取得しなければならない。
- 自動登録されない講習（関連学会の講習会など）については、JUA academy〈研修単位・業績登録〉で登録のうえ、更新申請時に受講証明書（原本）を提出することで単位として認められる。更新申請時まで、受講証は手元で保管する。

eラーニングの注意点

- 受講完了（視聴後テスト合格）したもののみ単位として認められる。テストは何度でも受けられる。

現在の認定期間内に総会・地区総会で開催された講習が単位として認められる。

（例）2026年度更新（現在の認定期間 2021年4月1日～2026年3月31日）

第109回総会（2021年12月） 卒後01 → 認められる

第108回総会（2020年12月） 卒後01 → 認められない

- 総会・地区総会で、同じプログラムを受講していないか確認する。重複してカウントはできない。

（例）第109回総会にて 卒後教育プログラム01 受講

eラーニングにて 第109回総会 卒後01 受講

→ 重複しているので、e-ラーニング分は単位にならない。

JUA Webinarの注意点

- 受講完了（視聴後テスト合格）したものののみ単位として認められる。テストは何度でも受けられる。
- 現在の認定期間内に公開された講習のうち、受講期間（単位が認められる期間）内に受講完了したものが単位として認められる。

iv) 学術業績・診療以外の活動実績

- 学術集会（総会・地区総会、地方会、認められている他学会）の参加で認められるのは、6単位までとなっている。

（例）

総会1回（3単位） + 地区総会1回（3単位） = 6単位（上限）

- 学会発表は、筆頭のみ認められる（1単位）。
- 論文発表は、筆頭（2単位）、連名（1単位）とも認められる。

取得単位数の確認方法 1/3

JUA academy 〈研修単位・業績登録〉で、自動登録された取得単位数等を確認することができる。

The screenshot shows the JUA academy website interface. At the top, there is a header with the JUA academy logo and the tagline "Everything you need is always at hand." Below the header, there is a "MENU" button. The main content area is divided into sections: "お知らせ" (Notice) with a list of recent notices, "各種コンテンツ" (Various Contents) with a list of content items, and a "研修単位・業績登録" (Training Units and Performance Registration) section. The "研修単位・業績登録" section is highlighted with a red box, and a red callout bubble points to it with the text "① JUA academy 〈研修単位・業績登録〉を選択" (Select JUA academy 〈Training Units and Performance Registration〉).

① JUA academy
〈研修単位・業績登録〉
を選択

取得単位数の確認方法 2/3

② 「①単位等確認」
を選択

研修単位・業績登録

MENU

TOP ①単位等確認 ②単位・業績申請 ③申請書類

単位取得一覧

更新

指導医についても、ご確認いただけます。
指導医初回のみ申請の場合も、更新用をご覧ください。

更新用はこちら

ログアウト

2017年度以前
研修開始登録者はこちら

2018年度以降
研修開始登録者はこちら

日本泌尿器科学会
TOPへ

会員MyWebトップ

③ 「更新用はこちら」
を選択

取得単位数の確認方法 3/3

④
自動登録された
取得単位等が
表示される

研修単位・業績登録

MENU

TOP

①単位等確認

②単位・業績申請

③申請書類

専門医更新

申請種別により、下記各項目をご確認ください。

専門医更新のみ：1～4 専門医更新+指導医初回または更新：1～6 指導医初回のみ：5～6

1. 協会または地区総会の参加回数
8回
【必要条件】専門医更新：1回以上

2. 取得単位数および認定更新申請用単位数
「取得単位数合計」の単位数（青字表記）をクリックすると、詳細が見られます。
※単位数が不足している項目は赤字で表示されます

i)～iv)の 必要単位数	自動登録された 単位数 (証明書の提出は 不要)	ご自身で登録した単位数 (証明書の提出が必要) 登録はこちら	取得単位数合計		認定更新 申請用単位数
i) 診療実績の証明 10単位	自動登録は ありません	NCD登録症例証 0単位 手術症例一覧表(様式2) 0単位 症例一覧表(様式3) 0単位	0単位	0単位 0単位	0単位 ※10単位不足して います
ii) 共通講習 3単位	医療安全 6単位	医療安全 1単位	医療安全 7単位	7単位	

3. 業績件数合計
30件（内、筆頭6件）
【必要条件】指導医初回：5件以上・うち1件以上筆頭 指導医更新：5件以上・すべて連名でも可
「単位・業績申請」で申請いただき、受理されたもののみ表示されます。審査中のものについては、しばらくお待ちください。

[戻る](#)

会員カードにつままして

ログアウト

日本泌尿器科学会
TOPへ

会員MyWebトップ

JUA academy TOP

会員へのお知らせ

登録情報の確認と編集

会費支払い状況確認

i) 診療実績の証明（または免除）登録 1/3

- 「i) 診療実績の証明」については、更新者全員が、①単位（10単位分）②免除、いずれかをJUA academy〈研修単位・業績登録〉システム上で登録しなければならない。
- 登録は、JUA academy〈研修単位・業績登録〉「①単位等確認」画面の「4. 受講証等の証明書の提出が必要な単位の登録」でできる。
- 登録のみでは、手続きは完了しない。登録＋専門医更新時に必要書類を提出することで、手続きが完了する。

i) 診療実績の証明（または免除）登録 2/3

① i) 診療実績の証明の「単位（10単位分）」を登録する

※「単位」の登録だけでは、手続きは完了しない。
 専門医更新申請時に、他の申請書類とあわせて登録した単位を証明する書類（NCD登録症例証、手術症例一覧表、症例一覧表）を提出することで、完了する。

4. 受講証等の証明書の提出が必要な単位の登録

ここで登録した単位については、申請書類とあわせて各種証明書を添付いただくことで単位として認定されます。申請時まで、お手元で各種証明書の保管をお願いいたします。証明書が添付されていない場合は単位になりませんので、ご注意ください。
 ii) 共通講習、iii) 泌尿器科領域講習、iv) 学術業績・診療以外の活動実績については、自動登録された単位数のみで必要条件を満たしている場合は、登録なさらないでください。

項目	注意事項	単位の登録
	<p>先生の更新回数 0</p> <p>【更新回数0～2回目の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●免除の選択はできません（表示されません）。 <p>【更新回数3回以上の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●免除の選択が可能です。 ●右の「①免除」にチェックを入れ、下にある「i)の単位を反映」ボタンを押して下さい。 ●診療従事証明書を右のボタンより印刷し、申請時にご提出下さい。 	
i) 診療実績の証明	<p>※申請書類提出時に②～④で単位登録された項目に該当する書類を提出いただくことで単位になります。合計なので、いずれかのみで満たしても構いません。</p>	<p>②NCD登録症例証 (10例 = 1単位) 0 単位</p> <p>③手術症例一覧表 (様式2) (10例 = 1単位) 0 単位</p> <p>④症例一覧表 (様式3) (1領域10例 = 1単位) 0 単位</p> <p>①免除が②～④の単位を設定後に下記ボタンを押して下さい。</p> <p>i)の単位を反映</p>

①合計10単位となるように登録する
 (いずれか1つで満たしてもOK)

②「i)の単位を反映」を選択

i) 診療実績の証明（または免除）登録 3/3

② i) 診療実績の証明の「免除」を登録する

※「免除」の登録だけでは、手続きは完了しない。
 専門医更新申請時に、他の申請書類とあわせて「診療従事証明書」を提出することで、完了する。

4. 受講証等の証明書の提出が必要な単位の登録

ここで登録した単位については、申請書類とあわせて各種証明書を添付いただくことで単位として認定されます。申請時まで、お手元で各種証明書の保管をお願いいたします。証明書が添付されていない場合は単位になりませんので、ご注意ください。
 ii) 共通講習、iii) 泌尿器科領域講習、iv) 学術業績・診療以外の活動実績については、自動登録された単位数のみで必要条件を満たしている場合は、登録なさらないでください。

項目	注意事項	単位の登録
i) 診療実績の証明	先生の更新回数 3 【更新回数0～2回目の場合】 ●免除の選択はできません（表示されません）。 【更新回数3回以上の場合】 ●免除の選択が可能です。 ●右の「①免除」にチェックを入れ、下にある「i)の単位を反映」ボタンを押して下さい。 ●診療従事証明書を右のボタンより印刷し、申請時にご提出下さい。	<input type="checkbox"/> ①免除 (診療従事証明書を下記ボタンより印刷して下さい。) 
	※申請書類提出時に②～④で単位登録された項目に該当する書類を提出いただくことで単位になります。合計なので、いずれかのみで満たしても構いません。	②NCD登録症例証 (10例=1単位) 0 単位 ③手術症例一覧表 (様式2) (10例=1単位) 0 単位 ④症例一覧表 (様式3) (1領域10例=1単位) 0 単位 ↓ ①免除が②～④の単位を設定後に下記ボタンを押して下さい。 <input type="button" value="i)の単位を反映"/>

①「免除」にチェックを入れる
 ※更新回数が3回以上の場合のみ、免除ボックスが表示される。

②「i)の単位を反映」を選択

単位・業績申請 1/3

申請区分	申請の必要について
専門医更新	<p>「①単位等確認」で</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「iv)学術業績・診療以外の活動実績」の申請用単位数が15単位未満 ② 「ii)共通講習」～「iv)学術業績・診療以外の活動実績」の合計が40単位未満 <p>①②両方に該当し、<u>申請したい場合のみ申請。必須ではない。</u></p>
指導医初回	<p>「①単位等確認」で、業績件数が</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 5件未満の場合 ② 筆頭業績がない場合 <p>①②の両方について、不足分の申請が必要。</p>
指導医更新	<p>「①単位等確認」で、業績件数が5件未満の場合のみ不足分の申請が必要。</p>

単位・業績申請 2/3

- 学会発表・論文発表・査読について、「②単位・業績申請」から申請することができる。
- 申請後、審査中のものは、「②単位・業績申請」に表示される。
- 申請後、受理されると、「②単位・業績申請」の画面からは消え、「①単位等確認」に業績数・単位数（自動登録された単位数）として表示される。

単位・業績申請 3/3

研修単位・業績登録

TOP ①単位等確認 ②単位・業績申請 ③申請書類

審査状況

①「②単位・業績申請」を選択

審査状況

業績等について

- ・ここには登録いただいた業績のうち「審査中」「却下」「取下げ」の業績のみ表示されます。受理された業績は、「申請条件確認」の自動登録された単位数として表示されます。
- ・「審査中」のもののみ、取下げができます。
- ・登録いただいた内容（漢題名等）がプログラムと異なる場合、プログラムの内容に修正して受理させていただくことがあります。そのため登録いただいた内容と異なる内容が表示されることがありますのでご了承ください。

単位等取得状況絞り込み

申請状況 審査中 却下 取下げ

<凡例>
発表：司会・座長・演者
論文：論文・著書等
直読：IDU・IDU CASE REPORTS・日誌誌の直読

学会発表の記録

入力前に、認定対象学会を上記「研修単位一覧表」でご確認下さい

学会・研究会名称

開催地 国内：東京都 海外：

※海外欄に入力する場合は、プルダウンを「海外」に設定してください。

発表年月日 (YYYY/MM/DD)

発表区分 筆頭 連名（機構専門医の場合は単位になりません） 司会・座長

漢題

PDF添付

論文

論文直読

研修単位・業績登録

TOP ①単位等確認 ②単位・業績申請 ③申請書類

審査状況

業績等について

- ・ここには登録いただいた業績のうち「審査中」「却下」「取下げ」の業績のみ表示されます。受理された業績は、「申請条件確認」の自動登録された単位数として表示されます。
- ・「審査中」のもののみ、取下げができます。
- ・登録いただいた内容（漢題名等）がプログラムと異なる場合、プログラムの内容に修正して受理させていただくことがあります。そのため登録いただいた内容と異なる内容が表示されることがありますのでご了承ください。

単位等取得状況絞り込み

申請状況 審査中 却下 取下げ

<凡例>
発表：司会・座長・演者
論文：論文・著書等
直読：IDU・IDU CASE REPORTS・日誌誌の直読

申請内容	申請日	状況結果	操作
発表 第999回日本泌尿器科学会総会	2022/11/07	審査中	<input type="button" value="取下げ"/>
発表 第999回埼玉地方会	2022/11/07	審査中	<input type="button" value="取下げ"/>

③申請手続きが完了すると「②単位・業績申請」に「審査中」として表示される

2. 取得単位数および認定更新申請用単位数

「取得単位数合計」の単位数（青字表記）をクリックすると、詳細が見られます。
※単位数が不足している項目は赤字で表示されます

i) ~iv) の必要単位数	自動登録された単位数 (証明書の提出は不要)	ご自身で登録した単位数 (証明書の提出が必要) <input type="button" value="登録はこちら"/>	取得単位数合計		認定更新申請用単位数
			自動登録	ご自身で登録	
i) 診療実績の証明 10単位	自動登録はありません	NCD登録症例証 0単位 手術症例一覧表(様式2) 0単位 症例一覧表(様式3) 0単位	0単位 0単位 0単位	0単位	0単位 ※10単位不足しています
ii) 共通講習 3~10単位	医療安全 6単位 感染対策 6単位 医療倫理 7単位 その他 3単位	医療安全 1単位 感染対策 3単位 医療倫理 0単位 その他 2単位	医療安全 7単位 感染対策 9単位 医療倫理 7単位 その他 5単位	28単位	10単位
iii) 泌尿器科領域講習 15単位以上	147単位	3単位	150単位	150単位	15単位
iv) 学術業績・診療以外の活動実績 3~15単位 参加の申請用単位数の上限は6単位	参加 41単位 その他 9単位	参加 5単位 その他 0単位	参加 46単位 その他 9単位	55単位	15単位 ※参加単位は6単位を超えている分は含まれません
i)~iv)の合計 50単位					

④受理されると「②単位・業績申請」から消え「①単位等確認」に表示される（青文字を選択すると内訳が表示される）

申請	発表	2020/12/01	第108回日本泌尿器科学会総会	1
申請	発表	2022/01/01	第999回日本泌尿器科学会総会	1
連名	論文	2017/04	Urologia Internationalis	1

申請書類のダウンロード 1/2

- 専門医更新申請用の書類は、「③申請書類」からダウンロードできる。

① 「③申請書類」を選択

② 「専門医更新申請書・指導医初回または更新」を選択

③ 「学位、勤務形態情報の登録」を選択

研修単位・業績登録

TOP ①単位等確認 ②単位・業績申請 ③申請書類

申請書類ダウンロード ※オンライン申請はできません

※ご自身の申請書類を選択してください。

- ・専門医更新申請書・指導医初回または更新
- ・専門医初回申請（2017年度以前研修開始登録者）
- ・専門医初回申請（2018年度以降研修開始登録者）
- ・指導医初回のみ（前年度以前に専門医更新済の場合のみ）

○...全員必要
指...専門医更新とあわせて指導医初回または更新申請する場合必要
△...場合により必要または不要（備考参照）

各種申請書類について

- ・勤務先住所・自宅住所・単位等は、会員MyWebに登録されている情報を利用
- ・変更がある場合は、書類を作成する前に会員MyWebでの変更手続きをお願いします。
- ・自動的に入力される内容や、**署名・捺印**いただく内容については、先生ご自身で
- ・先生ご自身が入力しなければならない項目については、セルに色が塗ってあります。
- ・認定証の送付先は会員MyWebの履歴送付先となります。

専門医更新申請書・指導医初回または更新

※下記ボタンより「学位」「勤務形態」情報の登録をお願いします。
登録後、全ての書類名ボタンが表示されます。

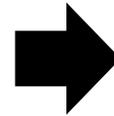
学位、勤務形態 情報の登録 (1) 泌尿器科専門医認定更新申請書（様式1-1）
(2) 勤務実態の自己申告（様式1-2）
の該当項目に反映します。

専門医初回申請（2017年度以前研修開始登録者）

※研修記録簿の他に、下記書類を添えて提出してください。

	書類名	備考
1	単位集計表	研修記録簿
2	取得単位一覧表	研修記録簿

専門医初回申請（2018年度以降研修開始登録者）



④ 「『学位』の有無と『勤務形態』の登録」画面が表示される

「学位」の有無と「勤務形態」の登録

学位	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
勤務形態	<input type="radio"/> a: 病院勤務 <input type="radio"/> b: 診療所勤務 <input type="radio"/> c: 非常勤

※主に従事する医療機関を選択

閉じる 登録

⑤ 学位と勤務形態について登録する（後で変更可能）

申請書類のダウンロード 2/2

研修単位・業績登録

TOP ①単位登録 ②単位・業績申請 ③申請書類

申請書類ダウンロード ※オンライン申請はできません

※ご自身の申請書類を選択してください

- ・専門医更新申請書・指導医初回または更新
- ・専門医初回申請（2017年度以前研修開始登録者）
- ・専門医初回申請（2018年度以降研修開始登録者）
- ・指導医初回のみ（前年度以前に専門医更新済の場合のみ）

○...全員必要
 ※...専門医更新とあわせて指導医初回または更新申請する場合必要
 △...場合により必要または不要（備考参照）

各種申請書類について

- ・勤務先住所・自宅住所・単位等は、会員MyWebに登録されている情報を利用して自動的に入力されます。変更がある場合は、書類を作成する前に会員MyWebでの変更手続きをお願いいたします。
- ・自動的に入力される内容や、**署名・捺印したく内容**については、先生ご自身で編集できないようになっています。
- ・先生ご自身が入力しなければならない項目については、セルの色が違ってあります。
- ・認定証の送付先は会員MyWebの雜誌送付先となります。

専門医更新申請書・指導医初回または更新

※下記ボタンより「学位」「勤務形態」情報の登録をお願いいたします。
 登録後、全ての書類名ボタンが表示されます。

学位、勤務形態 情報の登録 (1) 泌尿器科専門医認定更新申請書（様式1-1）
 (2) 勤務形態の自己申告（様式1-2）
 の該当項目に反映します。

	書類名	備考
1	<input type="radio"/> 泌尿器科専門医認定更新申請書（様式1-1）	
2	<input type="radio"/> 勤務形態の自己申告（様式1-2）	
9	<input type="checkbox"/> 泌尿器科領域学術振興会加盟申請書（様式6）	「受講証等の証明書の提出が必要な事件登録」で登録した学術集会有る場合のみ、該当する学術集会の参加証を添付してご提出ください。
10	<input type="checkbox"/> 指導医認定更新申請書	下記ボタンで申請種別を選択してから、ダウンロードしてください。 <input type="radio"/> 専門医更新および指導医初回 <input type="radio"/> 専門医更新および指導医更新
11	<input type="checkbox"/> 教育施設所属証明書	

ページ先頭へ

⑥「学位、勤務形態情報の登録」を登録すると申請書類一覧が表示される

単位取得例① 1/2

① 「必修講習B」の単位が必須ではない場合

項目		必須条件 チェック	受講方法	単位数	計	
ii)	共通講習 (3~10単位)	必修講習A (各1単位以上)	医療安全	○ 卒後教育プログラム (1講座) 1講座につき1単位×1講座=1単位	1	4
			感染対策	○ 卒後教育プログラム (1講座) 1講座につき1単位×1講座=1単位	1	
			医療倫理	○ 卒後教育プログラム (1講座) 1講座につき1単位×1講座=1単位	1	
	必修講習B (0~7単位)	医療制度と法律	-			
		地域医療	-	卒後教育プログラム (1講座) 1講座につき1単位×1講座=1単位	1	
		医療福祉制度	-			
		医療経済 (保険医療等)	-			
	任意講習C (0~7単位)	臨床研究・臨床試験	-			
		災害医療	-			
iii)	泌尿器科領域講習 (15単位以上)	-	卒後教育プログラム (10講座) 1講座につき1単位×10講座=10単位	10	23	
			JUA Webinar (10講座) 1講座につき1単位×10講座=10単位	10		
			総会企画の講習単位認定プログラム (3講座) 1講座につき1単位×3講座=3単位	3		
iv)	学術業績・診療以外の活動実績 (3~15単位)	参加 (3~6単位)	○ 総会 (1回) 総会1回につき3単位×1回=3単位	3	13	
			地区総会 (1回) 地区総会1回につき3単位×1回=3単位	3		
	その他 (0~12単位)	-	学会発表：筆頭 (3件) 1件につき1単位×3件=3単位	3		
			論文発表：筆頭 (2件) 1件につき2単位×2件=4単位	4		
合計 (ii~ivの合計で40単位)					40	

①
 (「必修B」が必須ではない場合)
 「必修A」を各1単位取得
 = 必須条件クリア

② 総会・地区総会に1回参加
 = 必須条件クリア
 ※例の場合、「参加」で取得できる上限
 (6単位) に達している

③
 40単位に達するよう、
 各項目の上限に注意して残る単位を取得する
 (「泌尿器科領域講習」は上限がない)

項目の()内単位数…必要な単位数。

i) 診療実績の証明 (10単位)…満たしている、または免除を選択しているという前提で、これを除いた合計「40単位」で計算。

iv) 学術業績・診療以外の活動実績…記載した以外にも取得方法はある。主な取得方法を例として記載。

単位取得例① 2/2

必要な講習単位（ii 共通講習 + iii 泌尿器科領域講習）の内訳

受講方法	単位数	割合
卒後教育プログラム	14	51.9%
その他 (JUA Webinar・総会企画の講習単位認定プログラム・ 受講証で証明できる単位)	13	-
合計	27	

卒後教育プログラムで
40%を超えているので
OK

単位取得例② 1/2

② 「必修講習B」の単位が必須の場合

項目		必須条件 チェック	受講方法	単位数	計	
ii)	共通講習 (8~10単位)	必修講習A (各1単位以上)	医療安全	○ 卒後教育プログラム (1講座) 1講座につき1単位×1講座=1単位	1	8
			感染対策	○ 卒後教育プログラム (1講座) 1講座につき1単位×1講座=1単位	1	
			医療倫理	○ 卒後教育プログラム (1講座) 1講座につき1単位×1講座=1単位	1	
	共通講習 (8~10単位)	必修講習B (各1単位以上)	医療制度と法律	○ 卒後教育プログラム (1講座) 1講座につき1単位×1講座=1単位	1	
			地域医療	○ 卒後教育プログラム (1講座) 1講座につき1単位×1講座=1単位	1	
			医療福祉制度	○ 卒後教育プログラム (1講座) 1講座につき1単位×1講座=1単位	1	
			医療経済 (保険医療等)	○ 卒後教育プログラム (1講座) 1講座につき1単位×1講座=1単位	1	
			両立支援	○ 卒後教育プログラム (1講座) 1講座につき1単位×1講座=1単位	1	
	共通講習 (8~10単位)	任意講習C (0~2単位)	臨床研究・臨床試験	-		
			災害医療	-		
iii)	泌尿器科領域講習 (15単位以上)	-	卒後教育プログラム (15講座) 1講座につき1単位×15講座=15単位	15	29	
		-	JUA Webinar (14講座) 1講座につき1単位×14講座=14単位	14		
iv)	学術業績・診療以外の活動実績 (3~15単位)	参加 (3~6単位)	○ 総会 (1回) 総会1回につき3単位×1回=3単位	3	3	
		その他 (0~12単位)	-			
合計 (ii~ivの合計で40単位)					40	

①
 (「必修B」が必須の場合)
 「必修A」「必修B」を各1単位取得
 = 必須条件クリア

②
 総会・地区総会に1回参加
 = 必須条件クリア

③
 40単位に達するよう、
 各項目の上限に注意して残る単位を取得する
 (「泌尿器科領域講習」は上限がない)

項目の()内単位数…必要な単位数。

i)診療実績の証明 (10単位) …満たしている、または免除を選択しているという前提で、これを除いた合計「40単位」で計算。

iv)学術業績・診療以外の活動実績…記載した以外にも取得方法はある。主な取得方法を例として記載。

単位取得例② 2/2

必要な講習単位（ii 共通講習 + iii 泌尿器科領域講習）の内訳

受講方法	単位数	割合
卒後教育プログラム	23	62.2%
その他 (JUA Webinar・総会企画の講習単位認定プログラム・ 受講証で証明できる単位)	14	-
合計	37	

卒後教育プログラムで
40%を超えているので
OK

専門医更新テスト

- 2026年度更新時から、必須となる。
- 現時点では詳細は未定。何らかの形でe-testを実施することになるかと思われる。
- 詳細が決まり次第、学会ウェブサイト等でお知らせする予定。